

2026年
1月1日発行

ふれあいネットワーク

社協だより

福祉ひの

発行／日野町社会福祉協議会

〒529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地（勤労福祉会館内）

総務課 TEL：0748-52-8080 FAX：0748-52-5544

介護福祉課(ひだまり事業所) TEL：0748-52-5556 FAX：0748-52-5544

地域福祉課 TEL：0748-52-1219・1920 FAX：0748-52-2009

E-mail : hureai01@rmc.ne.jp ホームページ : <http://www.hinoshakyo.or.jp/>

Instagram



ホームページ

ボランティア講座 バルーンアートに挑戦！



12月6日、ボランティア講座を開催し、16名の方に参加していただきました。

今年は、子どもからお年寄りまで、幅広い年代に人気のある「バルーンアート」に挑戦。

NPO法人レイカディアえにしの会の皆さんを講師に迎え、まずはバルーンアートの歴史や魅力(手軽に始められて、誰でも上達する、物づくりの楽しさがある)などを学び、いよいよ実践。

長さ26cmの細長いペンシルバルーンを使い、空気を入れる前の準備や様々なひねり方を練習した後、ハートや剣・花などの作品を真剣なまなざしで仕上げていかれました。

時折、風船が割れると、「おめでとうございます」という掛け声に会場には温かいムードに包まれ、最後には作品と一緒に笑顔があふっていました。

もくじ

1. バルーンアート講座
2. } 「心ふれあう福祉のつどい2025」を開催
- 3.
4. ほっこりカフェ報告とお知らせ／脳いきいきゲームリーダー養成講座報告
5. 災害ボランティアセンターマニュアルを策定／防災訓練実施報告
6. 民生委員だより／ひだまりだより
7. 社会を明るくする運動作文コンテスト／つなはぐ
8. 相談のご案内／善意銀行だより／つなはぐ基金／フードドライブ+a／お詫びと訂正

ふれあい 支え合い 福祉のつどい 25

ふれあう福祉のつどい2025」を開催しました。
「えあい」をテーマに、地域のつながりの大切さを再
民同士のふれあい、支え合い、助け合いのまちづくり

「クルーシブ食堂」と同日開催したこと、さらに大
は、約240名の方にご参加いただきました。



60歳だけど、まだ夢をもつ
ていいのだと思えた

皆さんのイキイキした歌
と笑顔に元気をもらつた

[human note] のトーク&コンサート

被災地支援等の活動や歳を重ねても夢や希望を
持ち続けることの大切さなど、経験を交えての
トークと歌を通じて元気と勇気をもらえたコン
サート

日野町内には子ども食堂が
7つあります

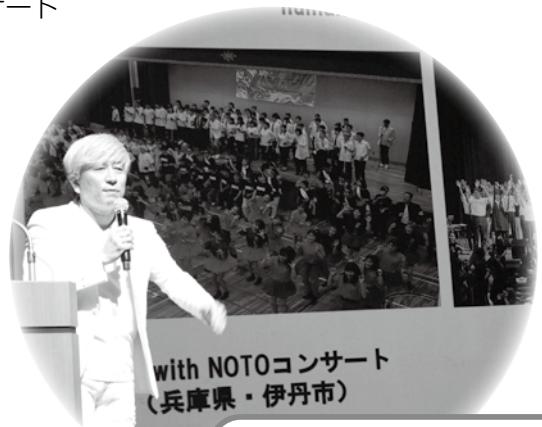
ひまわりカフェ
ピース子ども食堂
寺子屋食堂
遊学広場
日野里山フリースクール
つどい
にじいろ

どういうことをされている
のか知れてよかったです

活動を知り、応援したい気持ちになった

子どもや地域のために活
動されていることに感動

町内6つの子ども食堂で構成される
[ひのみんなの食堂ネットワーク] の実践発表



歌が被災者に勇気と希望を
与えていることに感動

アジパンダ食堂

「食べる」「見る・聞く」「遊ぶ・知る・学ぶ」子どもも
大人多くの人にぎわった「インクルーシブ食堂」





「上を向いて歩こう」の大合唱など、ステージと客席が一つになったコンサート

日野町社会福祉協議会 会長表彰受賞者、感謝状贈呈者・団体

(社会福祉関係役職等にあって概ね7年以上で、その期間に功績顕著な方)

(順不同・敬称略)

【福祉協力員】

こ もり 小森	ひさ ご 久子(大塙2区)	いつくしま 巖島	ま ち こ 眞知子(川原)	さわ むら 澤村	き よ こ 起代子(西明寺)
かわひがし 川東	りつ こ りつ子(豊田4区)	き もど 木元	とも こ 智子(豊田4区)	ひがしさわ 東澤	くみ こ 久美子(豊田4区)

よし ざわ
吉澤

しげ き
茂樹(湖南サンライズ)

(社会福祉に功績顕著な方であって住民の模範となる個人・団体)

【団体】 ひまつぶし(清田)

(社会福祉のため多額な金品の寄付、奇特な行為を行った個人・団体)

【団体】 (株)奥田工務店

福祉団体活動等の展示



字福社会や健康推進協議会、福祉教育推進校、手をつなぐ育成会の活動などを展示

各団体等の活動を紹介した力作を、たくさんの方に見ていただくことができました。



14個のオリジナル募金箱とテーマ型募金に、併せて6,077円の募金をいただきました。

今年はガチャガチャ募金も登場しました。

たくさんのご協力ありがとうございました。

共同募金コーナー・オリジナル募金箱の展示



10/30

ほっこりカフェ 開催しました

ご家族の介護をされている介護者同士の交流の場と情報交換の場として開いています。

今回は、「介護をとおして感じたこと」と題して、実母の介護をされた佐々木龍之さんと、担当ケアマネジャー（以下ケアマネ）の岩崎百合子さんとのトークセッション式で、佐々木さんの介護に至られるまでと介護のきっかけ、ケアマネとの出会い、施設利用・看取り、現在の心境等について聞かせていただきました。

岩崎ケアマネからは、当時のお母さんの様子やご家族への思いをお話しいただきました。

介護の方に向けて佐々木さんからは「頑張り過ぎない介護を」「介護されている方も」いま大事にしてください」と、岩崎さんからは「ご家族もしんどい時は、ケアマネに相談してください」と呼びかけていただきました。

交流会では、手淹れコーヒーを飲みながら、日々の介護事情等を話され、「頑張り過ぎる介護をしない。行政を頼るのも大事」「初めてお会いした方と話し、共通の事がわかり良かったです」など、ホッとした時間を過ごしていただけたようです。



7/9・7/16・7/23

脳いきいきゲームリーダー養成講座

9/11

スキルアップ講座 開講しました！

今年の脳いきいきゲームリーダー養成講座には7名、スキルアップ講座には20名の方が参加され、学びを深めてくださいました。

養成講座では、「脳いきいきゲーム」で大切にしている「やさしさのシャワー」の意味や、20通りあるゲームを学びながら、地域で実際にこのゲームをされている所にお伺いして、一緒に楽しい時間を過ごしました。

スキルアップ講座では、ゲームについて疑問に感じたことや深めたいと思ったことなど、ゲームを通して繋がったみんなと共有する時間が、新たな学びのきっかけにもなります。

このゲームの良いところは、毎回同じことを繰り返しながら、それでも飽きることなく笑いの中で「間違えた方がお得です～」と励ましてもらえるところです。

今日もどこかで「脳いきいきゲーム」を使い、会議所が笑いにあふれていることでしょう。



ほっこりカフェ

毎日の介護で疲れた身体と心を癒していただくための場です。介護者をはじめ、関心のある方もお気軽にご参加ください。

開催日	内 容
3月4日(水)	<第1部> 「セルフ耳ツボマッサージ」 <第2部> 美味しいスイーツで交流会

時 間：13:00～15:00（受付12:30～）

場 所：日野町林業センター ホール

参 加 費：500円

定 員：20名（定員になり次第締め切ります）

申込・問合せ先：日野町社会福祉協議会（☎52-1219）

締め切り：2月24日(火)

日野町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを策定

大地震や台風、大雨等により災害が発生した場合、被災地でのボランティア活動を効果的に推進するため、被災地の社会福祉協議会が中心となり、「災害ボランティアセンター」(災害VC)を運営することになります。

日野町においても、町の地域防災計画の中で、災害時のボランティア活動が円滑に展開され、被災者支援や復旧活動が迅速にできるよう、町社協に対し災害ボランティアセンターの設置について協議の上、要請することが明記されています。

日野町社協では、万一の災害に備え、日野町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを策定しました。



▲七尾市災害ボランティアセンターの様子

どこに設置されるの？

原則として日野町勤労福祉会館に設置するとします。

災害ボランティアセンターにはどのような役割があるの？

災害ボランティアセンターは、「被災者を支援したいボランティアのニーズ（思い）」と「支援を受けたい被災者のニーズ（困りごと）」の窓口となり、お互いの思いを「調整し、つなぐ」役割があります。また、ニーズ（助けてほしいこと）の把握に努め、その解決を図るための役割を担っています。

どんな業務を行うの？

災害ボランティアセンターでは、下記のような業務を行います。

- ①関係機関等との調整 ････ 町災害対策本部、滋賀県社会福祉協議会、自治会、民生委員・児童委員、日本赤十字社、共同募金会、NPO、ボランティア団体等との調整
- ②広報関係 ･･ 町災害VC情報の発信、マスコミ対応、ボランティア支援情報の提供等
- ③情報収集 ･･ 被害状況、ライフライン及び交通の状況等の確認等
- ④ボランティア活動の受け入れ ･･ ボランティア活動受付、ボランティア派遣依頼受付、ボランティア派遣調整等
- ⑤ボランティア活動者の情報集約 ･･ 町災害VCに関するデータの集計、ボランティア活動保険加入者取りまとめ等
- ⑥各種相談及び問い合わせへの対応 ･･ ボランティア及び町災害VCに関する相談、問い合わせ等への対応
- ⑦その他総務関係業務

災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました



11月16日、日野小学校グランドおよび体育館にて「日野町総合防災訓練」が実施されました。訓練は、午前6時30分に鈴鹿西縁断層帯を震源とする震度7の大地震が発生し、町内で家屋の倒壊などが起こり、人的被害やライフライン等の被害が多数発生しているという想定のもとで行われ、日野町社会福祉協議会は、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施しました。

訓練当日は、日野地区の民生委員さんや地区社協、字福社会の方にご協力いただき、ニーズの受付訓練を行いました。

災害が発生したときには、平常時からの見守りや声掛けが大きな力を発揮すると言われます。

町社協としても日頃から自治会や字福社会、福祉協力員など地域の皆さんとのつながりを大切にしながら、地域福祉活動を進めていきたいと考えています。

訓練にご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

民生委員だより

日野町民生委員児童委員協議会 事務局
日野町社会福祉協議会
☎ 0748-52-1219

三年間を振り返って

前西大路地区民生委員・児童委員 蒲生 好 よしみ

民生委員・児童委員（以下民生委員）の職を緊張と不安の中でお引き受けしましたが、いろいろ学ぶことが多い三年間でした。
無事に次の方へ引き継ぎさせていただけて、地域や周りの方々に感謝です。

「命のバトン」「しあわせのおはざ」「歳末たすけあい訪問」「赤ちゃん訪問」と、担当地域を回らせていただきました。回数を重ね、打ち解けて話していただけるようになりました。

地区社協関係の行事では、高齢者の方をはじめ、幼児や小学校児童との交流もあって、樂しく活動させていただきました。

また、施設訪問や研修では、多くの学びの機会をいただきました。

内池にある「NPO法人スープル」、蔵王にある「里山フリースクール」、小御門にある「家庭相談センター」等、初めて訪問させていただきました。

児童福祉部会で訪問した豊田市の「愛知少年院」は、心に重く響くものがありました。

民生委員の任期は終わりましたが、これからも日々の挨拶、声掛け、思いやりの心を大切に

と思います。



ひだまり事業所
TEL 0748-52-5556

ひだまりだより

新しい年を迎えました。

今年1年どのような年にいていきたいという思いをお持ちでしょうか？

今年も「一期一会」、人との出会いやその時間を大事に過ごしていきたいと思っています。

昨年も、たくさんの利用者さんとお出会いさせていただきました。そして若い頃の仕事、日野町の歴史、故郷のこと、お料理の工夫等を教えていただく機会がありました。

例えば、一町六村の合併で現在の日野町が出来た事や、以前は町内に3つの中学校があった事などです。

日野町のことをまだ知らない私たちにとって新鮮なお話ばかりで、利用者さんのたくさんの思いも受けとることができました。そして、その時々を大切に過ごされてきた事がとても伝わってきました。

今年も一人ひとりの利用者さんとの出会いを大切に、その時々で感じる思いを大切にこれから

らの支援に携わっていきたいと思います。

ひだまり事業所は、新事務所に引っ越しをして、2回目の新年を無事に迎えることができました。

地域の方と共に地域に根ざした介護が出来ればと思います。

今年も皆さんにとって良い年になりますよう、ひだまり職員一同願っております。



第75回社会を明るくする運動 作文コンテスト



今年も「社会を明るくする運動」の啓発活動の一環として行なった作文コンテストに、町内の小・中学生から計258作品のご参加ご応募をいただきました。

応募いただいた作品は「社会を明るくする運動」作文コンテスト審査委員会により、小・中学校3作品ずつを滋賀県推進委員会に推薦させていただきました。

本誌では、日野町の代表として推薦させていただいた児童・生徒さんのお名前と作品タイトルを披露させていただきます。

推薦作品については、日野町社会福祉協議会のホームページからご覧いただけます。

日野小学校5年生	奥村 咲来さん	『ドラマを見て考えたこと』
西大路小学校5年生	岡 洋喜さん	『あいさつでつながる心 いい笑顔』
南比都佐小学校6年生	藤澤 空弥さん	『笑って暮らせる社会のために』
日野中学校1年生	赤澤 しづくさん	『感謝の気持ちの大切さ』
日野中学校3年生	福本 千華さん	『言葉の力』
日野中学校3年生	廣瀬 清香さん	『つながりのある社会をめざして』



たくさんのご応募ありがとうございました。

つながりをはぐくむ活動

つなはぐ

鎌掛4区サロンおしゃべり会

歳を重ねられた方が、外出する機会も少なくなって、気兼ねなくおしゃべりする場も少なくなって…字の中の会議所だったら行きやすい来てもらいややすいのではないかと、地域の方が昨年から約3か月に1回居場所として、サロンが開かれています。

今年は、今回で3回目。いつもは10名の方が来られるそうですが、今回は8名のご参加でした。欠席の方の様子をご存じの方がおられ、お仲間さん同士の普段のお付き合いの様子が垣間見えました。



「ここに来るのが楽しみで」と皆さん笑顔で話してくださいます。

「今までいろいろなところに自由に行っていたが、歳をとるとあかんな～。あちこち痛いところができる、なかなか思うように動けなくなってきた。よそへ出かけるのは、病院くらいになった」とおっしゃる方がおられました。

「買い物や通院はどうしているんですか?」とお聞きすると、「お父さんに連れて行ってもらってる」とのことでした。

今回は「スマイルひの」の方と3人でお伺いし「脳いきいきゲーム」で楽しんでいただきました。

終わりには、「楽しかった」「また来てや」の声に送られ、会議所を後にしました。

相談のご案内

～お気軽にご相談ください～

日野町社会福祉協議会 Tel52-8080



法律相談(要予約)

法律的な専門知識が必要な相談を受付けています。

*相談日 令和7年度より、相談日が第1月曜日から第3月曜日に変更となっています。(原則)

- ① 1月19日(月)
- ② 2月16日(月)
- ③ 3月16日(月)

*相談時間 午後1時30分～午後4時まで
1人あたり30分(各日先着5名まで)

*相談場所 日野町勤労福祉社会館応接室

*相談員 京町法律事務所弁護士

*まずは日野町社会福祉協議会までご連絡ください。
あらかじめ相談概要をお伺いします。
申し込み締切日は相談日の1週間前の午前中になります。

よろず相談(予約不要)

暮らしの困りごとや悩みなど、お気軽にご相談ください。

*相談日時

第3以外の木曜日(祝日を除く)

第2・4木曜日は、特設人権相談所も併設しています。

午前9時～正午まで

(受付締め切り時間は11時30分)

*相談場所 日野町勤労福祉社会館応接室

*よろず相談は予約不要です。

相談のある方は直接会場へお越しください。

「つなはぐ基金」

ご寄付ありがとうございます

令和7年10月1日～令和7年11月30日まで

【現金のご寄付】

<順不同敬称略>

匿名	5,000円
匿名	4,000円
善意の交換所	6,222円

【お野菜のご寄付】

<順不同敬称略>

匿名 5件	柿30個、かぼちゃ7個、鶴首かぼちゃ4個、柿1箱、キウイ100個
-------	----------------------------------

お詫びと訂正

第194号(11月1日発行)5ページに掲載の「マイナ救急」と「救急電話相談」の二次元コードが逆に表示されました。

お詫びして訂正いたします。



マイナ救急



救急電話相談

善意銀行だより

令和7年10月1日～令和7年11月30日まで

【現金預託】

<順不同敬称略>

預託者	金額
匿名	1,000円
(株)奥田工務店	100,000円

【物品預託】

<順不同敬称略>

預託者	物品名
匿名 5件	米30Kg、米60Kg、米4.5Kg・食料品、もち米90Kg、シナモンパウダー2Kg
日野高校地域活動サークル	お菓子
井村 成之	米5Kg

ご寄付ありがとうございます



多額のご寄付をいただいた
(株)奥田工務店様



日野町子育て応援 フードドライブ+α2026in冬

【日 時】2月22日(日) 9:30～11:00

【場 所】勤労福祉会館・林業センター

家で余っている食料品や日用品を必要とされている方へ配布します。不要な物がありましたら、各地区公民館や公共施設へ備え付けている提供BOXへお願いします。

当日のご参加は、二次元コードによる申込み制です。
詳しくは1月下旬配布のチラシをご覧ください。

【回収期間】1月9日(金)～2月13日(金)

※提供していただける食品について

食品衛生上の観点から、下記についてご確認のうえ、
ご提供をお願いします。

○未開封のもの

○賞味期限が明記されていて、期限が1か月以上あるもの

○常温保存が可能なもの

【主 催】

日野町子育て応援フードドライブ+α実行委員会

【お問い合わせ先】

日野町役場子ども支援課 Tel 52-6583